

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

**腰痛・関節痛・頭痛に 飲んで、速く効く (胃にやさしい)**

## <解熱鎮痛薬> **エキセドリン プラスS** 第②類医薬品

エキセドリンには有効成分の異なる製品があります。本品の解熱鎮痛成分はアスピリン(アセチルサリチル酸)、アセトアミノフェンです。医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談する場合は、アスピリン(アセチルサリチル酸)、アセトアミノフェンとお伝えください。

**外出時や 仕事中など**

**急なつらい痛みに**



**4つの成分が優れた効果を  
＋  
胃を守る成分を配合**

### △ 使用上の注意

#### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

##### 1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。



##### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

##### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください(眠気等があらわれることがあります。)

##### 4. 服用前後は飲酒しないでください

##### 5. 長期連続して服用しないでください



#### 相談すること

##### 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍



##### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中の痛み、過度の体温低下

(必ず裏面もお読みください)

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
* アレルギ―反応に伴う急性冠症候群	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しさ、胸を強く押さえつけられた感じ、あごの痛み、左腕の痛み、さむけ、ふらつき、発汗、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、かゆみ、じんましん、発疹、のどのかゆみ、動悸等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 眠気

4. 5〜6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

**効 能** 1) 腰痛・関節痛・頭痛・肩こり痛・神経痛・筋肉痛・骨折痛・ねんざ痛・打撲痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・外傷痛の鎮痛 2) 寒寒・発熱時の解熱

**用法・用量** なるべく空腹時をさけて服用し、服用間隔は6時間以上おいてください。  
次の量を水又はぬるま湯にて服用してください。

年 齢	成人(15才以上)	15才未満
1回量	2錠 ●●	服用しないこと
1日服用回数	2回を限度とする	×

**〔用法・用量に関連する注意〕**(1) 用法・用量を厳守してください。(2) 錠剤の取り出し方  
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、  
取り出してお飲みください(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)。



**成 分 (2錠中)**

有効成分	含 量	はたらき	添加物として、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴールを含有する。プリン系の成分は、含まれておりません。
アスピリン(アセチルサリチル酸)	500mg	痛みをおさえるとともに、熱を下げます。	
アセトアミノフェン	300mg		
無水カフェイン	120mg	鎮痛成分の働きを助け、痛みをやわらげます。	
アリルイソプロピルアセチル尿素	30mg		
乾燥水酸化アルミニウムゲル	70mg	胃粘膜を保護し、胃が荒れるのを防ぎます。	

**保管及び取扱い上の注意** (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。(5) 変質の原因となりますので、服用なさらない錠剤の裏のアルミ箔に傷をつけないようにしてください。

■ お問合せ先 お買い求めのお店又は下記にお問合せください

ライオン株式会社 0120-813-752

受付時間 9:00〜17:00(土、日、祝日を除く)

ライオン株式会社

〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28